



▲お父さんも、真剣な眼差し

大熱戦を繰り広げた
カブト虫相撲大会
大崎場所



▲ドキドキ! 頑張れ! 頑張れ! 緊張の瞬間!

また、この大会の運営は、高校生から一般のボランティア50人が協力し、大会をスムーズに進行しました。

7月22日(日)、大崎町総合体育館において『第19回カブト虫相撲大会』が開催され、県内外から約1000人の親子連れが訪れました。この大会は、生態の観察学習によって自然の成り立ちを知り、昆虫への愛情を深め、情緒豊かな人間性を創造することを目的として、社会福祉法人愛生会が毎年行なっているものです。



▲行司も大変! 「はっけよい のこった!」



▲綱わり...50cmの綱をどれだけ早く渡れるかを勝負



▲相撲...直径20cmの土俵での“にらみあい!”

ボランティアに参加した高校生は、「思った以上に人が多くてビックリしました。でも、子ども達の楽しそうな笑顔を見ると疲れもなくなります。」と笑顔でこたえてくれました。